

# 地学協働

07

2023年4月

Hokkaido community and school collaboration

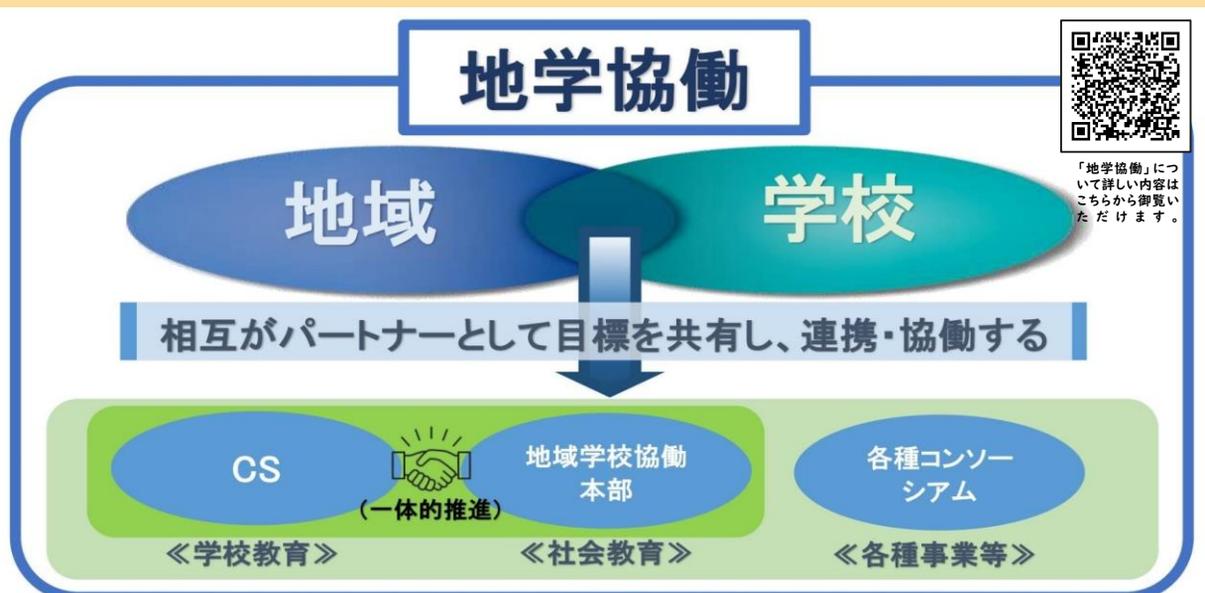
北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課



バックナンバーは  
こちらから御覧い  
ただけます。

1

## 広報誌「地学協働」について



道教委では、令和4年（2022年）10月に「北海道の地域と学校の連携・協働を応援する広報誌『地学協働』」第1号を発行し、今回4月で第7号となりました。今年度も道内における地学協働の情報を発信していきます。

さて、道教委では、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を「地学協働」と称し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する活動を展開しながら、教育活動の充実に向けた体制づくりに取り組んでいます。

道内各地において、地域の多様な特色を生かした特徴的な地学協働の取組が、実践されており、子どもを軸とした地域と学校の学び合いにより、学校はもとより、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核としたまちづくり」を推進し、地域創生につなげているところです。

本誌は、月に1回程度発行し、地学協働活動の普及・啓発を図りたいと考えていますので、職場や地域において御活用ください。

道教委では、今年度も地学協働活動を推進するために、地学協働アワード2023をはじめとする各種事業を行います。詳しい内容については、今後発行する本誌に掲載する予定です。

## <地学協働アワード2023>

今年度で2回目となる「北海道地学協働アワード2023」を令和6年2月に開催する予定です。

地域と連携・協働して優れた学習活動を行っている高等学校や特別支援学校（高等部）に対して、その功績をたたえるもので、北海道教育委員会教育長による表彰を行います。

今年度も多くの学校の参加をお待ちしています。



昨年度グランプリ校

## <各種協議会>

### ■地域と学校の連携推進協議会

「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、地域と学校とが相互に連携・協働しながら一体となって「地域学校協働活動」を充実させる方法について理解を深めます。

対象：教職員、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員等  
 (道央) 令和5年7月28日(金) 石狩教育局  
 (道北) 令和5年11月22日(水) 上川教育局  
 (道南) 令和5年9月29日(金) 日高教育局  
 (道東) 令和5年8月30日(水) 根室教育局



放課後活動推進協議会

### ■放課後活動推進協議会

子どもへの活動支援のあり方を含めた専門的な講義や演習等を行い、放課後活動を支える人材の資質向上を図ります。

対象：放課後児童支援員、教育活動サポーター、地域コーディネーター等  
 (道央) ①令和5年7月4日(火) ②11月17日(金) 空知教育局  
 (道北) ①令和5年6月12日(月) ②(開催日未定) 留萌教育局  
 (道南) ①令和5年7月14日(金) ②10月20日(金) 檜山教育局  
 (道東) ①令和5年6月20日(火) ②10月19日(木) 十勝教育局

※各協議会は、道内のブロック4会場で、オンラインを活用して行います。

## <北海道地学協働アドバイザー派遣事業>

公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入・取組の充実に向けた説明や熟議の実施など、学校の要望にお応えし、北海道地学協働アドバイザーを派遣します。学校教育や社会教育の経験が豊富な4名のアドバイザーですので、学校運営協議会や準備委員会等で好評をいただいております。

派遣を希望される教育委員会若しくは学校は、当課までお問い合わせください。



地学協働アドバイザーが進行する熟議の様子

道教委では、令和3年度からの3か年、高校生と大人と一緒に地域課題を解決する地域課題探究型の学習体験により、地域の未来を担う人材の育成を目指す「北海道CLASSプロジェクト」を進めています。

この事業は、推進校4校に学校と地域の連携・協働の要となる「地域コーディネーター」を配置し、地域と学校をつなぐ体制を整備し、「まち・ひと・しごと」と「学び」が地域と学校との連携・協働体制による活動を通じて、具体的につながり、地域社会で生きる教育を進めることを目的に実施しています。

今年度は、最終年度となりますので、研究の成果報告会でもある「全道地学協働研究大会」を実施するなど、本事業の成果を普及・啓発していきます。

## 令和4年度の実施成果報告書から

研究指定校の昨年度の実施成果報告書から、主な内容を抜粋しました。

### 生徒・教員の意識の変容

- アンケートでは、町への理解・興味・認知度・町民との関わりについて上昇（当別高校）
- 外部人材が入ることで探究が進んだと答えた教員がほとんどであり、外部人材の活用の抵抗感は低くなった。（帯広三条高校）
- 生徒による授業評価で「主体的・協働的な授業をしている」との回答が4ポイント満点で3.54ポイントと上昇（夕張高校）
- 探究コーチ（地域人材）の存在は、日常的に生徒が外部の大人と関われるため、成長につながる。教員の負担軽減にもつながっている。（本別高校）

### 組織・取組について

- コンソーシアム会議では、生徒の発表姿勢を評価する声が出るなど、活動や生徒について意見交換した。（上富良野高校）
- 「地域学」を全教員・全生徒を対象に3年間継続して取り組むようにした。（白老東高校）
- 必要に応じてコンソーシアム参加の団体の協力を得ながら進めた（鶴川高校）
- 町の地学協働活動本部と連携し、高校生が小学生の学習補助を行った。（豊富高校）

### <北海道CLASSプロジェクトに関わる人々の声>

地域をフィールドにした学習活動の拡充により、生徒の学習意欲の向上や地元への愛着の高まりにつながり、学校と地域における相互の好循環が生まれています。



## 令和5年度の主な取組

「北海道CLASSプロジェクト」の今年度の主な取組です。高校と地域の連携・協働の自走可能な仕組みづくりやプロセスの研究を全道に発信するとともに、研究指定校の研究を支援していきます。

### <活動支援>

#### コーディネーターミーティング

コーディネーターの研修・協議を行い、活動がより円滑に進むように支援

### <成果報告・発信>

#### 全道地学協働活動研究大会

CLASSプロジェクトの3年間の研究について推進校から報告し、現場での具体的な課題や推進のポイントについて、「知りたい情報」を発表する大会。

※11月オンライン実施予定

### <理解促進>

#### 地学協働オンライン講座

主に、学校の教員を対象に、地学協働についての理解を深め、社会に開かれた教育課程の実現に向け、地域との協働のポイントや、子どもたちの成長のために必要なことを講座形式で実施

※オンライン実施予定



「北海道CLASSプロジェクト」について詳しい内容はこちらから御覧いただけます。

本誌第4号（令和5年1月）では、国の「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の改訂に向けた「論点まとめ」の概要をお知らせしたところですが、国の計画に基づき、令和5年3月末には、道教委でも「北海道子どもの読書活動推進計画〈第五次計画〉」を策定しました。今号では、第四次計画における成果と課題や新計画の推進方策と目標の概要をお知らせします。



「北海道子どもの読書推進計画」の詳しい内容はこちらから御覧いただけます。

## 第四次計画の成果と課題

### 【成果】

- 子どもの読書活動推進計画を策定した市町村が増加したこと
- 学校図書館図書標準の達成や学校司書の配置が、目標値には届かないものの、全ての校種で改善の傾向が見られること

### 【課題】

- 家や図書館で普段10分以上読書をする児童生徒の割合が減少していること
- 「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に事業を実施している市町村数が減少していること など



### 【地域】

子どもの視点に立ったサービスの改善  
／学校図書館・ボランティアとの連携

### 【家庭】保護者の理解促進 ／家読の推進

### 【学校】

学校司書の配置促進/  
学校図書館のICT化・バリアフリー化

## 〈基本目標1〉社会全体での子どもの読書活動の推進

	目標指標	指標の概要	基準年度 (R4)	目標年度 (R9)
①	市町村・公立図書館における啓発の実施状況	「子ども読書の日(4/23)」や「こどもの読書週間(4/23～5/12)」に子どもの読書活動に関する事業を実施している市町村数	130市町村	179市町村
②	授業における学校図書館の活用状況	授業(総合的な学習の時間、総合的な探究の時間)で学校図書館を活用している学校の割合	小 90.8% 中 71.2% 高 43.6%	小 100% 中 100% 高 100%
③	学校図書館における様々な人材との連携状況	公立図書館や様々な人材と連携した取組を行っている学校の割合	小 92.0% 中 69.6% 高 26.5%	小 100% 中 100% 高 60%

## 〈基本目標2〉子どもの学びを支える読書環境の整備

	目標指標	指標の概要	基準年度 (R4)	目標年度 (R9)
①	公立図書館におけるアクセシブルな書籍等の導入状況	所管の公立図書館(室)において、障がいがあっても利用しやすい形式の書籍の導入やサービスの提供をしている市町村数	114市町村	179市町村
②	学校図書館におけるICT化の状況	学校図書館において、蔵書の電子管理をしている学校の割合	小 84.2% 中 83.8% 高 64.7%	小 100% 中 100% 高 100%
③	学校司書の配置状況	学校司書を配置している学校の割合 ※高校の指標は上位計画である北海道教育推進計画で設定	小 34.4% 中 23.4% ※(高 4.7%) (R3)	小 70.0% 中 66.0% ※(高 50.0%)

ー全ての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行えるよう、社会全体で取り組みましようー

題字の背景写真は、「北海道公式観光サイト『HOKKAIDO LOVE!』」

(公益社団法人 北海道観光振興機構)のフォトライブラリーから御提供いただいております。

● 掲載サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/>

